

Masao Kusakabe Exhibition

日下部 雅生 作品展

ギャラリー ヒルゲート

ノルウェー・ベルゲン市でのレジデンス作品展

ムンクの空と型絵染

「Bergen Sky 2.0」



「Bergen Sky 1.0」

2025 年

2月 11 日 (祝・火) ▶ 16 日 (日)

12 : 00 ~ 19 : 00 (最終日 ~ 17 : 00)

ヒルゲート夜話市民講座

日下部 雅生 (染色作家・京都市立芸術大学教授)

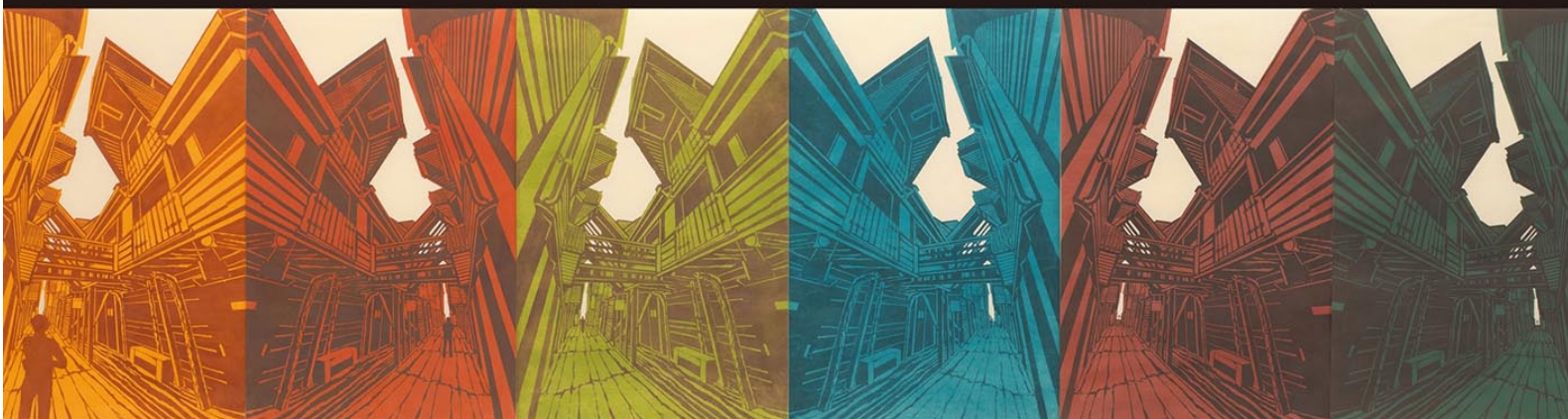
「ノルウェーの今、ベルゲンの今」

2月 15 日 (土) 18 : 00 ~ 19 : 30 ギャラリー 1F

参加費 1,000 円 (学生 500 円) 定員 35 名 (要予約)



「Ulriken」



「Bergen Sky」

ムンクの空にあこがれて

高校生の時、親友と奈良県立美術館にムンク展を見に行った。あの衝撃は忘れ難い。「病める子」や「バンパイヤ」に、その後早逝した親友を重ねたわけではないが、それから 45 年あこがれ続けたムンクの故郷ノルウェーを 2022 年初夏に初めて訪問、3 週間余り滞在した。2023 年度には勤務先から 1 年間のサバティカル研修を取得して渡航。いずれも共同研究を行っているベルゲン大学の招聘にて、基本的にはベルゲンに滞在、アーティストインレジデンスと大学内外で型染のワークショップや授業を行った。

2023 年の短い夏には先住民サーミのフェスティバル「Riddu Riddu festivála」に参加するため最北の都市トロムソから白夜の Manndalen という村を訪問、またオスロにも滞在して念願のムンクの作品を堪能した。

2024 年 1 月からは長い夜を作品制作と授業に勤しみ、3 月末にはその成果を「日下部雅生展—Bergen Sky—」としてベルゲン市内の Trykkeriet Gallery 1 で開催した。(同期間 Gallery 2 では市民講座として行った、型染ワークショップの参加者達の作品展も併催)

今回はその時の展示作品（一部は再制作）と、現地での取材からノルウェーをモチーフに新たに制作した作品を展示する。

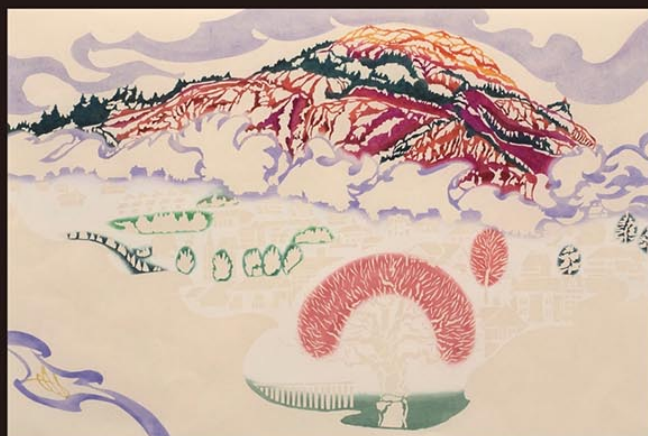


「遠い海」

日下部 雅生（くさかべ まさお）

- 1988 年 京都市立芸術大学 卒業（1990 年同大学院 修了）
- 2012 年 第 44 回 日展 特選
- 2014 年～ 2015 年 英国 Bath Spa 大学 客員研究員として 1 年間の渡英
- 2015 年 個展「Across Time and Space ～ Expression of the connected heart ～」（英国 BSU Gallery）
- 2018 年 第 38 回 京都工芸美術作家協会展 奨励賞
- 2019 年 第 9 回国際伝統芸術招待展（上海芸術品博物館／中華人民共和国）
- 2021 年 日下部雅生作品展「洛北の庭より」（京都 ギャラリー・ヒルゲート）
- 2022 年 日下部雅生作品展「今、今更に型紙にて放哉を想う」（京都 堺町画廊）
- 2023 年 日下部雅生作品展「うつろう染めいろ」（京都万華鏡ミュージアム特別企画展）

京都市立芸術大学美術学部 教授、京都工芸美術作家協会 理事



「Fløypilen—雪と雲の晴れ間—」

Masao Kusakabe Exhibition

Munch's sky and stencil dyeing
Residency Exhibition in Bergen, Norway

2025. 2/11 (tue) ▶ 16 (sun)

12:00-19:00 (last day-17:00)



ギャラリー ヒルゲート 1F
カフェ・ギャラリー ヒルゲート 2F

〒604-8081
京都市中京区寺町三条上ル天性寺前町535
TEL 075-231-3702
FAX 075-231-3750
URL <http://www.hillgate.jp>

